



笠原英彦 議員が町に問う！

行政区の再編

町のリードで再編の取組を
吸い上げを行います

Q 令和元年度の行政区アンケートから、各区が抱えている課題は。

A 防災地域支援課長 多かつた回答として「役員の手不足・負担増」「委員の高齢化」「行政区活動への関心低下」がありました。

Q さきの諸課題に対し、調査分析や、必要な手立ては行ったか。

A 防災地域支援課長 調査結果を区長会に提出し、問題提起を図っています。また、今後どのような対応が最も有効であるか等、各区長と研究している段階です。

Q 実際問題として「行政区の再編」は難題である。町のリードで取り組んでもらいたいと考えるが。



世帯数が減少、この賑わいも過去の幻

Q 令和3年度分の状況・動向は。政策推進課長 前年度比で受入額は5%減・流出額は30%増となり、流出超過の状況ですが、企業版ふるさと納税として、初めて3社から210万円を受領しました。

一方、急を要する地区もあるので、迅速な対応を取っていきます。
ふるさと納税の推進



鈴木秀尚 議員が町に問う！

遊休農地

ふれあい農園等で利活用を
把握し検討します

Q 町が積極的に介入し「ふれあい農園」の取組等で遊休農地の利活用を。

A 環境農林課長 現在、小川町ふれあい農園協議会において、高谷・能増の2地区で186区画を運営しています。新たな市民農園の開設は、周辺農地の利用促進に支障を及ぼさないこと・道路の整備状況など、留意点も多くある中で、農業者や農地所有者、利用者のニーズ等を把握し、必要に応じ検討します。

Q 増える遊休農地の解消に向けた「遊休農地バンク」の設置は。

A 環境農林課長 町は農地の有効活用を目的に、平成30年度から農家ではない人が農地を借りて耕作ができる制度の運用を始め「解除条件付き利用権」を受け付



放置のままでは、景観も悪化します

Q 地の利を生かして「体験農園」等を整備し、都会から人を呼び込む取組を。
A 環境農林課長 土地利用構想や農業振興地域計画等に沿った利活用を考えていきます。

けることで、遊休農地等の利活用を図っています。
嵐山小川IC付近の土地利用



本多重信 議員が町に問う！

障害者福祉

医療費の窓口払いの廃止を
整理していきます

Q 町は障害の有無による分け隔てのない共生社会の実現を目指している。しかし、重度心身障害者は医療費の支払いに苦慮している事が町の調査でも明らかにされている。対象者の窓口払いを廃止すべきではないか。

A 健康福祉課長 様々な課題がある中で、課題を整理していきます。

コロナから守る生徒の進路

Q 1日でも早い対応が進路の明暗を分ける。最大限の手を尽くし、学年・学級閉鎖を食い止め、生徒の進路を守るべきではないか。

A 学校教育課長 コロナ禍での進路指導も3年目になるので、対策を取り進めています。今後学習力・学習の保障は、進路を考えながら進めていきます。



高齢者の社会参加を活性化の力に

Q デマンドタクシーの充実
高齢者の免許返納に伴う課題等に応え、生活を支えるシステムのデマンドタクシーにすべきでは。
A 都市政策課長 署名を添えた要望書を受けています。「協議会」で検討することになります。
●その他の質問
人口減少問題と空き家対策



稲村瑋治 議員が町に問う！

インバウンド

訪日客誘致の映像製作を
宣伝手段の一つとして考えています

Q 円安をチャンスと捉え、訪日客誘致のPR映像の製作を。

A にぎわい創出課長 ウィズコロナ時代において、密集を回避した「体験型観光」が注目されています。当町には和紙や地酒、有機農業、自然など体験型観光に必要な要素があります。訪日客誘致の映像製作は、地域経済の活性化につながり、宣伝手段の一つとして検討すべきと考えています。

ストリートピアノの設置を

Q 移住定住につながるには、まず当町を知ってもらうことが必要である。町を挙げて「映えスポット」を作るため、人が集まりやすい場所にピアノ等の楽器を設置することはできないか。
A 政策推進課長 ストリートピ



独自の魅力あふれる小川町

小川町議会だよりは

写真にコダワル！

写真は編集委員が「撮る」「選ぶ」。キャプション(写真説明)も工夫します。

つづく！

この経験を自信にして生かしてほしいです。
みどりが丘小 教務主任 葛野先生

小川町について考えるよい機会になりました。
八和田小 6年担任 大高先生

1年間の期間満了で自動的に貸借関係は消滅し、農地所有者は確実に農地の返還を受けられるなどの制度。